



まいづる

〈学校教育目標〉
胸を張って堂々と生きる
〈JRCの態度目標〉
気付き・考え・実行する

★R5年度合言葉「みんなで楽しく学び合い、気づき、考え、実行する国分っ子」

子どもの成長のため～人と人との触れ合いを大事に～

校長 福留憲一

子どもがより良く成長するためには、その**年齢に応じた様々な学習や体験・経験**が必要だと考えています。



そういう意味では、学校という存在は同じ学年や異なる学年の子どもたちが**集団で学校生活を送っている**ため、**大きな学びや経験の場**になると考えています。当たり前ではありますが、学習内容は低学年から高学年へと、その積み重ねで学習内容をより高度なものとして獲得していきます。また、生活面では幼いころの自己中心的な言動が、他の子どもと**触れ合ったり、衝突したり**して他者を感じるようになり、自分だけの考えではうまくいかないことを**体験的に学んでいきます**。(赤ちゃんは、おなかがすいたとき、お漏らしをした時などに泣きますが、泣けば大人が手助けすることをおして、自分を王様と勘違いするそうです。しかし、きょうだいなど周りと触れ合うことで思い通りにいかないことを学ぶこととなります。)

それから、子どもの成長は学校だけではなく、家庭をはじめとした**地域の力**もかなり重要になってくると考えています。しかしながら、現在の状況としては、コロナが長く続いたことによって、地域活動に対する意識がかなり低くなっているような気がします。特に、地域活動の根本的なものである「**子ども会&育成会活動**」が活動を休止したり、消滅したりしているようです。

昔から「**地域の教育力**」という言葉を聞きますが、私は、「**地域の教育力**」とは、子どもと地域の大人がどれだけ関わられるかが肝心だと思っています。簡単に言うと、地域の中で**顔と名前が一致するほどの関係性**が重要だということです。自治会主催の祭りや十五夜や餅つき大会等のイベント、高齢者と一緒のラジオ体操…、様々な場面での**異年齢の交流**が大事だと思っています。

子どものよりよい成長のためには、学校や家庭、地域の中で、その成長するタイミングを見逃さず、**過保護や過干渉**に気をつけながら**子どもに接すること(声掛け等)**や**地域活動等に参加させること**が大事だと考えます。(過保護は、子どもが望むことを親が行いすぎてしまうことを指します。それに対して過干渉とは、親が望むことを子どもに対して行い過ぎてしまうことを指すという違いがあります。)現在、自治会や子ども会に入会していない方が増えてきていると聞いています。**人と人が触れ合う**ことで、**子どもはもちろんのこと私たち大人も成長していく**と思っています。PTA活動なども同じです。ぜひ、子どものためにも地域活動やPTA活動等に積極的に関わっていただきたいと思っています。

コロナのピークは過ぎたものの、まだまだマスク姿の方も多く、職員と保護者、保護者同士の間にも何となくよそよそしさを感じています。これから愛校作業や運動会の準備・片づけ、**PTAバザー**、学級独自の活動等を予定しています。これらは、職員と保護者、保護者同士の**交流の場**にもなります。ぜひ、このような行事やイベント等への参加をよろしく願いいたします。



人と人が触れ合うことで心の成長が促されます。子どもはなおさらです。

●全国学力学習状況調査の結果から

4月18日(火)に文部科学省による学力学習状況調査を実施しました。全国的な子どもたちの学力や学習の状況を把握・分析し教育の改善を図るとともに、一人一人の学習改善や学習意欲の向上につなげることを目的に、小学校では、毎年6年生を対象に実施しているものです。

結果をもとに、本校の学力の傾向を分析し、学力向上について対応策をまとめました。その概要をお知らせいたします。

<調査結果(正答率)>

教科	本校	霧島市	鹿児島県	全国
国語	66	68	67	67.2
算数	61	61	61	62.5

【国語】

市、県、全国の平均を全て下回りました。特に課題となっている内容は、「複数の資料から共通する内容を読み取る。」「複数の情報を関連付けて読み取る。」「インタビューをするときの質問の意図を明確にする。」でした。

この結果をもとに、学校では、複数の資料から、共通する箇所に線を引いたり、関連のある言葉をまとめたりする活動の授業の中で取り組みます。

【算数】

市、県の平均と同じでしたが、全国平均を下回りました。

特に課題となっている内容は、「 40×50 のような、一の位が0同士のかけ算の筆算が正確にできる。」「伴って変わる量の規則性を見つけて計算する。」「角度が30度の折っている紙を広げると60度になることをイメージできる。」でした。

この結果をもとに、学校では、10のまとまりや、角度など、具体物がなくてもイメージできるように操作活動の時間を設定したり、伴って変わる2つの量の変わり方を表に整理して規則性を調べ、数量を□や△を用いた式に表したりする活動を取り入れたりします。

【御家庭へのお願い】

- 読書を大切にしていきましょう。文学・科学・歴史・地理・芸術…いろいろな本を読み、いろいろな表現や用語にふれることで、語彙力を高め知識の幅を広げることができます。
- 時々でいいので、家族一緒に生活の中で算数を意識してみましょ。う。「料理で重さ」「お風呂で水のかさ」「買い物で暗

算」「折り紙で角度」「家の中で図形探し」など、数量を意識するだけで、身のまわりには算数を使えるものが意外とあります。

●しごと村

保護者や地域の有志の方が、4年生の子どもたちに自分の職業について話をしたり、体験をさせたりする「しごと村」を9月10日(土)に実施しました。

今年度は昨年度を上回る13社、計28名の方々が参加してくださいました。趣向を凝らしたプレゼンテーションや、仕事で使う道具を持ち込んでの実演、実際に現場で使われている道具を使っての体験などもあり、子どもたちは、熱心に話を聞いたり、質問をしたり、メモをとったりしていました。



●がんばってます「国分っ子」

※名前の後ろの数字は学年を表しています。

●理科研究記録展(地区審査)

<特選> 浅野 春花③ 寺村 美咲④
井上 和奏⑤ 大菌 希織⑤

●県児童生徒作文コンクール(地区審査)

<特選> 小林 夕莉③ 井上 和奏⑤

※ 理科研究記録展と県児童生徒作文コンクールは、市の審査会入賞者が多数のため地区入賞者の紹介のみとしました。

●10月の行事予定

- 3日(火)1年校外学習
- 5日(木)運動会前健康相談
- 13日(木)トークタイム
かごしま国体少年女子サッカー観戦・応援(4年生)
- 14日(土)土曜授業、国分地球村(5・6年)
- 15日(日)家庭の日
- 17日(火)運動会準備、家庭教育学級講座「プログラミング」
- 19日(木)市小学校陸上記録会(国分陸上競技場)
- 20日(金)市戦没者追悼式
- 22日(日)秋季大運動会
- 23日(月)振替休日
- 25日(水)盲導犬ふれあい学習(4年)
- 30日(月)かごしま国体障がい者サッカー観戦・応援(5・6年生)